

令和4年4月4日  
四国電力株式会社

### 伊方発電所3号機 原子炉建屋内の火災感知器の不具合について

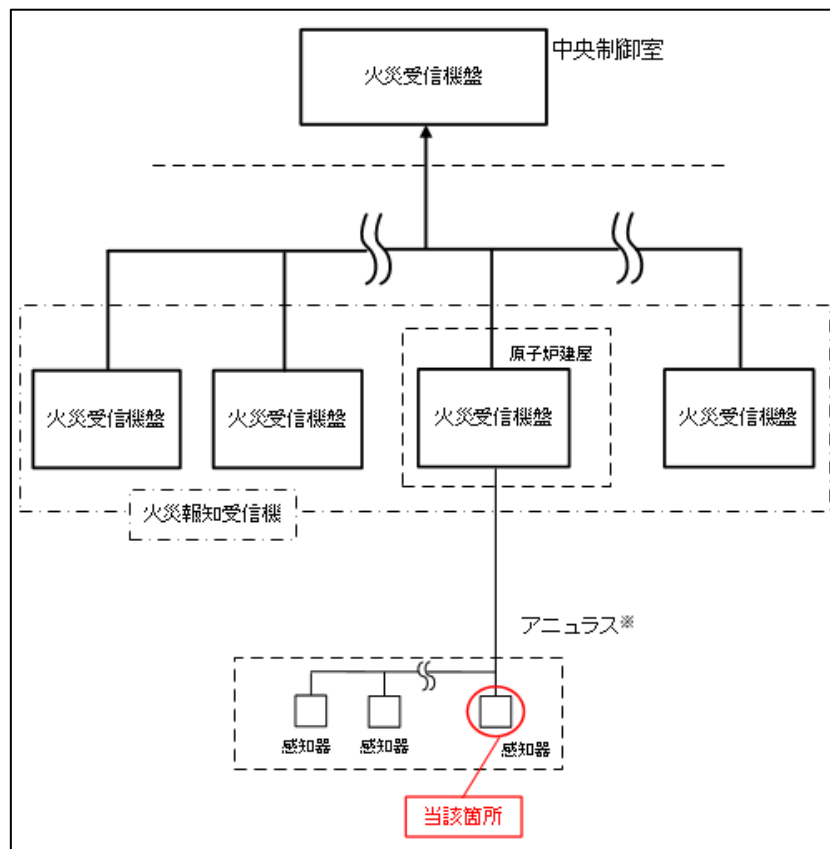
通常運転中の伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）において、昨日、原子炉建屋（管理区域内）の火災報知受信機の異常を示す信号が発信しました。現地確認を実施し、20時5分、火災が発生していないことを確認しました。

その後の調査において、感知器の不具合によるものであることを確認したことから、当該感知器を取り替え、正常に動作することを確認し、本日1時43分に通常状態に復旧しました。

なお、当該感知器の取り替えまでの間、他の感知器により監視を実施しており、火災感知機能に問題はありませんでした。

今後、原因を詳細調査いたします。

本事象によるプラントの運転および環境への放射能の影響はありませんでした。



伊方発電所3号機 火災感知回路概略図

※ 原子炉格納容器とその外部のコンクリート壁（外部遮へい壁）の間にあるリング状の空間。事故時に原子炉格納容器から漏洩する放射性物質を閉じ込める機能を有する。